平成28年度（水産品）

手待ち時間の削減等関係者間の協力による拘束時間短縮　北海道

1. 実施者の概要

- 発荷主企業：水産物加工会社、水産物販売会社
  道東地区（水産物加工会社1社）、道南地区（水産物加工会社1社、水産物販売会社1社）の計3社
- 実運送事業者
  道東地区1社（札幌市中央卸売市場まで片道約400km、道南地区1社（同じく片道約200km）の計2社
- 着荷主企業：卸売市場荷受会社（卸売業者）
  札幌市中央卸売市場の荷受会社（大卸）2社
- 卸売市場荷受作業（小揚）会社
  市場内の物流を担当する運送会社 2社
- 荷種
  水産物（道東地区と道南地区から札幌市中央卸売市場への水産物輸送）

2. 事業概要

●荷受会社あて積荷明細の事前にFAX送信による手待ち時間の短縮

手待ち時間の発生要因	事前の FAX送信率	改善への取り組み	事後の FAX送信率
事前に積荷明細をFAXしないと仕分けラベル作成にかかる待機時間が約30分	約30%	事前の積荷明細FAX送信の協力を依頼	約40%（約10%車両が30分の待機時間を短縮）

●運送事業者の自助努力による運行計画の見直し

道東～札幌市の往復運行の返路貨物がない2日運行では、途中の休息期間が確保できず、拘束時間をオーバーするケースが。	札幌発道東向けの返路貨物（雑貨）を確保することにより、3日運行に変更し、休息期間が確保できるように改善。

●発荷主と運送事業者の連携による出発時刻のルール化（2015年末に実施）

道南地区からの輸送の一部で道外への中継輸送に間に合わせるために無理な運行のケースが。	運送事業者が各荷主を訪問し、締切時間の厳守を文書で要請、荷主側の協力を得られ安定した輸送に。

●札幌市中央卸売市場側での荷卸し時間の延長（2017年3月20日夜以降）

水産棟内の施設が狭隘で、トラックが集中する深夜時間以降は、水産棟内で荷受作業が行えず、廃道等の外部を利用。約1時間の手待ち時間が発生する要因に。	水産棟内のレイアウトの変更が荷卸し時間の拡大（2時締切→3時30分締切）が実施予定。トラックの荷卸し時間の短縮、運転者の拘束時間の削減が期待。

平成28年度（水産品）

3. 課題

① 運行計画の難しさから拘束時間が長時間化している。
② 中継輸送が必要なことにより拘束時間が長時間化している。
③ 市場での手待ち時間の発生が拘束時間に影響を及ぼしている。
④ 施設が狭いために、施設内で荷卸し作業ができず、労力と時間を要している。
⑤ 水揚げや生産の時間から輸送までの時間的な余裕がない。
⑥ 輸送計画・輸送需要が天候に左右される。

4. 事業内容

① 発荷主と運送事業者の連携による出発時刻のルール化
② 運送事業者の自助努力による運行計画の見直し
③ 荷受作業の効率化に向けた協力体制の構築
　1）発荷主からの事前出荷情報の徹底
　2）荷役設備の改良
④ 札幌市中央卸売市場における施設改善
　1）市場内あるいは隣接地等における中継貨物スペースの確保
　2）廃道における上屋等の設置による荷受けスペースの拡大
⑤ その他（契約の書面化の推進）

5. 結果

① 荷受会社あて積荷明細の事前にFAX送信による手待ち時間の短縮
　FAX受信の割合は、事前事後で約30%から約40%と10%向上。従前に比べ10%の車両（ドライバー）が、荷札の作成のために要する手待ち時間である約30分が短縮。
② 運送事業者の自助努力による運行計画の見直し
　札幌発道東向けの返路貨物（雑貨）を確保することにより、3日運行に変更し、休息期間が確保できるように改善
③ 発荷主と運送事業者の連携による出発時刻のルール化（2015年末に実施）
　運送事業者が各荷主を訪問し、締切時間の厳守を文書で要請、荷主側の協力を得られ安定した輸送に。
④ 札幌市中央卸売市場側での荷卸し時間の延長（2017年3月20日夜以降）
　水産棟内のレイアウトの変更が荷卸し時間の拡大（2時締切→3時30分締切）が実施予定。トラックの荷卸し時間の短縮、運転者の拘束時間の削減が期待。

6. 荷主企業及び実運送事業者のメリット

① 水産物輸送の貨物特性・時間特性・作業特性等、従来、この種の「市場向け輸送」については、拘束時間の長時間化は止むを得ないこととされていたが、今は、コンプライアンスや安全を重視し、改善基準を順守して運転者の拘束時間を短縮化するため、各輸送事業者の運行の見直しや、荷卸しの待機時間の短縮に取り組んだ結果、水産物の安定した輸送に寄与している。

7. 結果に結びついたポイント

① 発着地とも、荷主である出荷業者・荷受業者が改善の取り組みに積極的であったことが大きい。特に、到着地では、前述したように多くの関係事業者があり、その調整・協議を進めながら水産棟内での荷卸し時間の拡大を推進した大卸業者のリーダーシップにより、運転者の待機時間・荷役時間の短縮に成果が出ることを期待する。